

中国大陸地域社会における台湾「国語」の影響

王 涵 *

The influence of the Taiwan “language” in
local mainland Chinese societies

Wang Han *

Received October 20, 2001

緒 論 大陸の改革開放に従って台湾「国語」の上陸

中国の標準語は、中国大陸地域社会において「普通話」と言い、台湾において「国語」と言われている。しかし台湾「国語」は台湾地域社会に使われている標準語だけでなく、香港、シンガポール、マレーシア、欧米、日本の華人社会も使われている。「普通話」と「国語」の両立は、中華文化圏内の「社会主義言語」と「資本主義言語」の両立とも言えるでしょうか。台湾地域社会と中国大陸地域社会の政治、経済、文化背景等は異なっていて、海峡兩岸50年余りも直接の関係は断絶しているので、言語の相違と落差の大きさも当然なことです。20世紀80年代から、中国大陸地域社会の改革開放に従って、「国語」も海外資本主義の経済、文化成分と共に大陸地域社会に上陸し、つまり大陸地域社会の必要な外来文化として絶え間なく吸収されている。その影響は、もちろん中国大陸の言語教育にかかわらず、日本の中国語教育にも及んでいる。

一、中国大陸に流行している台湾「国語」

20世紀80年代から中国大陸地域社会で流行している台湾「国語」に対して、中国著名作家の劉心武氏は近作《京漂女》の中に生々しく書いてある：

阿铿先走一步。服务员收拾过桌面后，她还在那里愣愣地坐着。

又有人叫她。是一种极其标准的“国语”。听那声音，出语人简直是从台北街头直接走进来的。那是都非。

“哐！这位女生，天还蛮早，怎么就在这壁厢作夕阳之叹啊！”

其实都非根本没去过台湾，一直生长在四川成都的小巷子里，可是他竟练就了一副地道的“台

* 外国語学部
Faculty of Foreign Languages

北腔”，还会灵活使用某些台湾流行的语言习惯，如把年轻女士一律称作女生，使用“蛮”替代“非常”为副词，在句首频频加上个“那”什么的。这也不奇怪，除了台湾影视歌三栖明星本身的影响，大陆有的电视主持人，就靠着这样的语言风格蹿红，都非从中受到极大的启发鼓舞，他的理想，就是进入电视台成为那样的红主持。

曾经有人说，深圳树上落下一片树叶，会同时砸着好几位经理。与此类似，在北京某些场合，树上落下一片树叶，会至少砸着一位“京漂”。

都非——自然是他的艺名，绝大多数“京漂族”都尽量不让人知道他们身份证上的那个名字，都非身份证上的名字是张锦生，他自己觉得俗不可耐，于是取了现在这样一个“耐人寻味”的雅称。都非坐到她对面，很内行地点了一客高雄担仔面；听说她已经吃过东西，便为她点了一杯台式泡沫红茶，笑嘻嘻地说：“呜喔，男生请女生，那应该的啦！”

都非边吃面边评论昨天电视里娱乐节目的主持人的表现。都非的絮叨令她起腻。她就故意说：“我只欣赏亚宁。至少，他没有台北‘国语’腔……”她知道，都非最听不得中央电视台综艺节目的主持人亚宁的名字，还没有混成亚宁的同行，却已然是冤家了。

都非吞着面条，脸上是痛苦的表情，她心软了，没等他说出论争的话，便笑笑问：“你今天什么日程啊？”

都非吃完面，用餐巾纸很秀气地揩嘴唇，整个气质比奶油更奶油，对她说：“真是的，你的日程如果还没排定，那我们为什么不一起去参加《心比火热》首映式？那会很开心的啦！”

拍《心比火热》的那一帮人，她当然听说过，却还没接触过。那些人搭成的班子，其实比她已经够得着的剧组档次要低，但是她闲着也是闲着，百无聊赖中，去蹬一脚倒也无妨。

出了小吃店，都非伸出手，字正腔圆地呼唤：“计程车！”她撇嘴：“北京只有出租车！要么，叫TAXI，叫‘的’……你以为你在哪儿？”

《当代》2001年第2期、人民文学出版社

小説中の登場人物の“都非”は、身分証明書上の名前は“張錦生”で、彼は俗っぽくて我慢ならないと感じているので、現在このような味わい深いという上品な名前にした。都非はとても標準的な台湾「国語」を使っている、その声を聞くと、まるで台北の街頭から直接北京に来たようであった。実際、彼はまったく台湾に行ったことがなく、ずっと四川の小さな路地で生まれ育った。しかし、彼は意外に正真正銘の「台北腔」（台北なまり）を身につけていて、台湾で流行の言語習慣をうまく使える。例えば、若い女性のことを“女生”と呼び、“非常”のかわりに“蛮”という副詞を使い、文頭によくやわらかな“那”などを使う。台湾人のよく使う語気詞“啐”，“呜喔”，“……的啦”などに熟達していて、さらに“这壁厢”（ここ）“夕阳之叹”（ため息をつく）など台湾知識階級の言葉も自由自在に使える。小説の作者の指摘によると、これは不思議なことではなく、台湾の映画、テレビ、歌手三位一体のスターの影響はあまりにも大きい。大陸の一部のテレビ司会者は、このような言語風格に頼って売れっ子になった。都非は、その中から大きく啓発され、野望がわいてきて、彼の理想は、テレビ局に入って、まさしくあのような有名な司会者になることである。

劉心武氏《京漂女》の発表年代は2001年3月である。20世紀80年代中期から中国大陸の言語生活に大きな衝撃を与えた台湾「国語」は、その影響はいまなお続いて絶えない状態になって

いるのではないと思われる。

台湾人の話し言葉には、北方中国人の話し言葉にすでに消失した濁音(全濁声母など)、閉鎖音韻尾をもつ入声韻(-k、-p、-t)、四呼不揃い・転呼(uo→o, u→ou, uei→ei, uan→anなど)等音韻要素はまだ存在している。それから私の過去の論文で指摘したように⁽¹⁾、台湾「国語」は大陸「普通話」の持つ軽声、「児」化音を殆ど排除した。音声の面から「国語」をそっくり真似することは非常に難しいことである。

音声の面から「国語」をそっくり真似するより、語彙を摘み取る方がずっと簡単なので、80年代中期から、台湾「国語」の語彙は大量に中国大陆地域社会へ進出している。その影響は、日本の中国語検定にも反映されている。ここでちょっと筆を入れて分析したいと思います。

二、近年来日本「中検」に見られる台湾「国語」語彙

日本中国語検定は近年来、急速に発展している中国地域社会に現れた新語も試験問題として年々出されている。その中に台湾「国語」の語彙も少なくない。ここで数例⁽²⁾を取り上げようと思います。

例 1

因此我们在设计制作时应该考虑到雕塑能否对于环境产生好的影响,并给人们以深刻的印象。只有这样,存在于城市环境中的雕塑才能使艺术与环境之间形成互动关系。(そこで、彫塑をデザインし、製作する時には、私たちはそれが環境に対してよい影響を生み出せるかどうか、また人々に深い印象を与えられるかどうかを考慮しなければならない。こうして初めて、都市環境にある彫塑は、芸術と環境の間に互いに促進し合う関係を形成させることができるのだ。)

1999年3月第37回中検準2級筆記問題

注：

「互动」：台湾国語の常用語で、お互いに触れ合い、促進し合うの意味である。大陸普通話で言い換えれば、「相互影响、互相促进」の表現にあたる。

例 2

现在,一个集旅游、疗养、避暑、狩猎和海上游乐功能为一体的陆海休闲乐园、已在这里巍然出现。(今、観光・療養・避暑・狩り・マリレジャーの機能を集めて一体とした陸と海のリゾートの楽園が、もうここに雄大な姿を現している。)

1999年6月第38回中検2級筆記問題

注：

「休闲」：台湾国語の常用語で、休養や遊楽を指す。また関連語彙には「休闲农业」「休闲渔业」「休闲鞋」などがある。大陸普通話で言い換えれば、「假日里的休息游乐」の表現にあたる。

例 3

商人笑着说：“我们为了实现舒适服务，就要用一次性消费的雨伞，我们可以定牌订货嘛，

「这不会倒贵厂的牌子。」（商人は笑って言った。「我々は快適なサービスを実現するために使い捨ての傘が必要なのです。私たちの方で商標を決めて発注できるわけですよね。こういうふうにすれば、お宅の工場の名前に傷がつくことはありません」。

1999年11月第39回中検 3 級筆記問題

注：

「舒适服务」、「一次性消费」などのサービスと商業用語は、中国大陸の経済開放や台湾企業の進出とともに、中国大陸地域社会に浸透した台湾国語の常用語である。台湾は「一次性消费」の著名な輸出地域で、「一次性消费」に関する商品は数え切れないほどある。「舒适服务」は台湾企業がよく使っているスローガンで、例えば台湾チャイナ・エアライン（中華航空）の「我们为旅客提供舒适服务」（我々は旅客に快適なサービスを提供する）というスローガンは、利用客の記憶になお新しいでしょう。

例 4

“有车一族” 那是什么劲头？它绝不仅仅是带来了出行的方便。（「マイカー」一族は何がいかって。それは外出の際に便利さをもたらしただけではない。）

1999年11月第39回中検 1 級筆記問題

注：

「有车族」というのは台湾のマイカーを持っている人達のこと、また「开车族」とも言う。「一族」という言葉は日本から台湾、また台湾から大陸に伝わった言葉である。先に取り上げた劉心武氏の《京漂女》も同じような注釈をしている：「有人粗略统计过，到2001年初，大约有一万来人，叫做“京漂”，用从日本传到台湾再传到大陆的那个词汇——一族来说，则是“京漂一族”。」（ある人の大体の統計によると、2001年の初めには、およそ1万余りの人々が北京に来て「京漂」と呼ばれている。日本から台湾、また台湾から大陸に伝わった——「一族」という言葉を使って言えば、すなわち「京漂一族」と言う）。

例 5

中国毕竟是一个有着十二亿多人口的大国，何况我们的底子差，至少在可见的将来还不存在超前。……不要说九亿农民一年出行一趟，就是三亿多城里人一年增加出行一次，中国交通都会爆满。……我们必须坚定信心，趁目前国力有可能的时候，加速交通运输网络体系建设，将新瓶颈消灭在萌芽状态。（中国はつまるところ12億余りの人口を抱える大国であり、おまけに我々の経済的基盤は弱く、少なくとも近い将来においてはなお「供給が需要を上回るという問題」は存在しない。…9億の農民が年に1度旅行すれば言うまでもなく、3億余りの都市人口が年1回旅行を増やしただけで、中国の交通機関は超満員となってしまうだろう。…我々は信念を固め、現在の、国に力がある時期に逃げずに、交通輸送ネットワークシステムの建設を速め、新しいネックになる部分を初期のうちにつぶしてしまわなければならない。）

2000年11月第42回中検 1 級筆記問題

注：

上記問題の解説者は「超前」、「爆满」、「瓶颈」という言葉を近年流行の新語と注記したが、

これらはみな台湾国語の語彙である。「超前」の意味は現実の状態を超える、「爆満」は一定の収容能力を超えることを形容する。「瓶颈」という言葉はやや理解しにくく、中検問題の解説者はこれを「瓶の上部のすばまった部分の意味から、比喩的物事を進め際に障害となるところ」と解釈している。実に簡単に言えば、障害、難関の意味で、大陸普通話で言い換えると「障碍」「难关」と同じような表現だと思う。

例 6

最近出台了一套新的管理体制，并于今年元月一日起正式运作。（このほど新しい管理体制が敷かれ、今年1月1日より正式に動き出した。）

2000年11月第42回中検1級筆記問題

注：

中検問題の解説者は「运作」を「最近の新語で（政府機関・組織などが）活動する/政策を実施する」と注釈しているが、台湾国語中の「运作」は業務・仕事の展開と進行の意味に過ぎない、また斡旋の意味ももっている。

中検問題の中に見られる台湾「国語」あるいは国語区で使っている言葉はもちろんほかにもある。例えば「炒鱿鱼」（リストラ）、「卡拉OK」、「开盘」（株などの取引を始まる）、「售后服务」（アフターサービス）、「锁定」（限定、しっかりと固める）等がある。問題の出題者あるいは解説者がこれらの新語の出所がわかれば、さらにより活用あるいは解説ができるのではないかと思う。

日本の中国語教育・研究は長い間に中国の北方方言に偏っていて、中国語の検定試験にもこのような傾向が見られた。しかし近年来中国の急発展による大きな言語変化に注目して、新語を検定問題に取り入れたのは良い方向に向かっているのではないかと思う。言語は文化再生産の基盤として、地域社会の発展や変化を注記、反映している。中国の急速な発展と変化のいま、言語の需要と供給による需給関係も変わってきている。中国北方方言にのみに偏っている日本の中国語教育・研究が依然旧態ならば、この20年来国語区、中国大陸南部地域と国外から生み出されているたくさん新語に対する研究を行わなければ、中国語の教育と研究は時代遅れになるのではないと思われる。

三、中国大陸の新語としてよく使っている台湾「国語」の語彙

以下、更にここ数年来、筆者は中国大陸の雑誌・新聞で採集した中国大陸地域社会に流行している台湾「国語」の語彙データをとりあげてみる。これらの語彙の多くを中国大陸の現代中国語辞書にまだ掲載されていないが、使用率は高く、しかも人々は使用の時、ほとんどその語の出所すら知らなかった。

斑马线 横断歩道の線。大陸ですでに確定した言い方。もともと「人行横道線」と称する。

包装 身なり、装い、装飾など。大陸でとても流行している国語の語彙。大陸での以前の言い方は「裝飾」、「打扮」、「裝潢」などである。

曝光	暴露する。摘発する。大陸でとても流行している国語の語彙。大陸での以前の言い方は「暴露」「揭露」である。
曝光率	マスコミに登場する機会。大陸の「出头露面的机会」の言い方に相当する。
炒作	誇張、誇大に形容する。大陸でとても流行している国語の語彙。大陸の「渲染」「夸大」の言い方に相当する。
炒热	誇張、誇大な宣伝によって事をホットな話題にすること。
炒	転売する。例え「炒汽车」「炒房子」「炒股票」など。大陸での以前の言い方は「倒卖」である。貶義語の「倒卖」より、「炒」の方は中性的で、対象の善し悪しに触れてない。
超前	超える、現状を上回る。
驾照	運転免許。
车位	駐車場での車の駐車位置。
大盘	株市相場の全体の動向。
个股	会社、個人の株券。
黑盘	株式市場の相場は弱気である。
上市公司	株式市場で株券を売り出す会社。
黑马	急騰した株券。
跌停板	株券が一定の幅まで下落したら、その日の取引を中止する。
回档	価格が上昇した後にもとの価格に戻る。
回报	投資の利潤。
回报率	投資の受益率。
丁客族	子供を作りたくない夫婦。
订位	座席を予約する、或いは、航空券を確認すること。大陸での言い方を言い換えると、「订座」「订席位」「确认机票」である。
坐台	クラブのホステス。大陸での「陪酒小姐」の言い方に相当する。
出场	クラブのホステスを兼ねて売春をする。
打拼	一生懸命奮闘する。大陸での言い方は「拼搏」「奋斗」などである。
打歌、打片	新曲、新作映画を宣伝する。
打知名度	方法・手段を講じて知名度を上げる。
空洞化	経済が衰退して、空白が現れる。
美眉	まだ結婚していない若い女性。大陸の若者特に大学生の間でとても流行している国語の語彙。「mm」という略語さえもある。大陸での言い方は「姑娘」「妹子」である。
二人世界	恋人同士あるいは夫婦二人だけの小さな生活範囲。
二手烟	たばこを吸う人が噴き出した煙。
发烧友	夢中になっている人。
发廊	ヘアーサロン、美容室。
非礼	わいせつなことをする、セクハラ、強姦などの性犯罪行為。大陸での言い方は「耍流氓」「猥亵」「强奸」などである。

便当	弁当。大陸での言い方は「盒飯」である。
便利店	24時間営業、年中無休のスーパーマーケット。大陸で「24小时超市」の言い方もある。
怪圈	悪循環。大陸での言い方は「恶性循环」である。
关爱	気にかける、関心寄せる。大陸での言い方は「关心爱护」である。
贺岁片	旧正月の期間に上映した映画。
暗爽	陰でうれしい、台湾の方言から国語の語彙に転化した。大陸の俗的な言い方は「偷着乐」に相当する。
乌龙	間違いを出した。大陸での言い方は「差错」である。
花心	浮気する。
黄金时间	視聴率の最高の時間帯。
第一时间	最も速い時間。
第二春	再婚する。
肢体行为	けんかする、暴力を振る。大陸での言い方は「动手」「打架」などである。
做秀	出演、公演。
暴力秀	公の場所は暴れたり騒いだりする。大陸での「在公开场合打闹」の言い方に相当する。
告别秀	さよなら公演、さよなら試合。
服装秀	ファッション・ショー。大陸での言い方は「时装表演」である。
保险套	コンドーム。大陸での言い方は「避孕套」である。
不设防	性行為を拒絶しないで、避妊しない。大陸での「不拒绝性行为，不避孕」の言い方に相当する。
不俗	レベルが高い。大陸での言い方は「有水平」である。
不争	争べきものがない。大陸での言い方は「无可争议」である。
产能	生産能力。
充电	補習する。
补强	補充、強化する。
飙车	スピードを上げる、暴走する。大陸での言い方は「开快车」である。
飙涨	暴騰する。大陸での言い方は「飞涨」である。
底线	越えることはできない最低のライン。
低迷	経済下落、景気が悪い。
成衣市场	服装市場。
上班一族、上班族	サラリーマン。
金曲	人気がある歌曲。
客层	顧客の中のさまざまな構成。
敬业	仕事に対して真剣で責任感が強い。
帅哥	ハンサムな男子青年。
来电	異性に対して激情に駆られる。
落地签证	出国の時ビザを取らず、異国に到着した後にビザを取得すること。
卖点	人目を引いて、売れ行きの良い注目個所。

盲点	認識できないところ。
男生	男性の青年。男性の学生に限らない。
女生	若い女性。女性の学生に限らない。
牛郎	男性の売春者。
热身	準備する。
热卖	良い売れ行き。
拍档	パートナー。
派对	party。
泡沫经济	泡のような実力のない経済。
品牌	銘柄, マーク, 商標。
平常心	淡々とする平常な心理状態。
旗下	管轄下, 支配下。
前卫	新しい流れをリードする。
跌破眼镜	意外である。失望する。
钓凯子	妓女は客引きをする。
强暴	強姦する。
抢滩	市場を占領する。
入围	入選する。
商机	ビジネスチャンス。商売を営む機会。
水货	密輸品。
锁定	限定する。
随声听	ウォークマン。
特卖	特価で売り出す。安く売る。
心态	心理状態。
新生代	若い世代。
星级	スター級の俳優あるいは星ランクが付いているホテル。
A片	猥褻の映画, ビデオテープ。
DJ	ダンス・ホール, カラオケBOXの中に音響効果をコントロールする人。
DTV	全称「Disco・TV」。ディスコのダンス・ホールと視聴施設一体化の娯楽空間。
KTV	全称「カラオケ・TV」。カラオケ, レーザー音響, 飲食までも提供する一体化の娯楽施設。
MTV	音楽のドキュメンタリー。

以上の挙げた例はほんの一部分である。その中に現代経済生活・人間生活の用語が多くて人々の目をひく。このような例は枚挙にいとまがないので、もちろん一つ一つ列挙する術がない。

結 語

地域は文化再生産の場であって、言語記号はその場、つまり地域の発展や変化を記録する唯一の手段で、文化再生産を維持する基盤である。地域が複雑になればなるほど言語も複雑になる。発展が遅れる地域の言語は先進地域の言語に近寄り、さらに受け入れることは言語発展の本来の規律である。そもそも政治色彩濃厚と表現硬いの中国大陸の「普通話」は、もちろん80年代以降の急速発展と展開している多彩の現代生活を反映する言葉が不足で、先進地域の台湾・香港からたくさんの語彙を輸入するのは当然必至なことだと思われる。現代中国大陸地域社会の「普通話」も、ひたすら政治需要に迎合することなく、現代生活、人間生活の需要に従う言語の本来の規律を尊重し、大陸地域社会は、これからの更なる大きな発展と共に、さらに積極的にたくさんの言語養分を吸収した方が良いと思う。

注

- (1) 王涵〈現代漢語の地域分化と現代中国の言語問題〉、北陸大学紀要22号、1998。
- (2) 取上げた例と解説の出所はすべて日本中国語検定協会編《中検問題集》(光生館出版)である。

主要参考資料

- 《人民日報》海外版(1998-2001)。
 《当代》(1994-2001)、人民文学出版社。
 《十月》(1994-2001)、北京出版社。
 《收穫》(1994-2001)、收穫文学雑誌社。
 《小説月報》(1994-2001)、百花文芸出版社。
 《人民文学》(1994-2001)、人民文学雑誌社。
 《上海文学》(1994-2001)、上海文学雑誌社。
 《北京文学》(1994-2001)、北京文学月刊社。
 《重編国語辞典》、中華民国教育部重編国語辞典編集委員会主編、台湾商務印書館発行、1981、台北。
 《当代国語大辞典》(第2版)、百科文化事業股份有限公司編集出版、1985、台北。
 《中文大辞典》、林尹、高明主編、中国文化大学出版社出版、1985、台北。
 《国語日報外来語詞典》、国語日報社編集出版、1981、台北。
 《漢語大辞典》、漢語大辞典編集委員会編集、上海辞書出版社出版、1986、上海。
 《現代漢語辞典》(第2版)、中国社会科学院言語研究所詞典編輯室編集、商務印書館出版、1988、北京。
 《漢語大辞典》、漢語大辞典編集委員会編集、上海辞書出版社出版、1986、上海。

【付記】小論を作成するに際し、協力して頂き2001年度王ゼミ3年次年生及び本学ライブラリーセンターの田邊良和氏に、深く御礼を申し上げます。